

4. 論文の訂正：査読審査の結果、原稿の訂正を求められた場合は、40日以内に、訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて、前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること、なお、Editor の責任において一部字句の訂正をすることがある。
5. 校正：校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
6. 掲載：論文の掲載は採用順を原則とする。迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること。
 - (1) 掲載料は1頁につき和文は5,500円、英文は6,500円、超過頁は1頁につき7,000円、写真の製版代、凸版、トレース代、別冊、送料などは別に実費を申し受ける。
 - (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する。5頁以内は30,000円、6頁以上は1頁毎に10,000円を加算した額を申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については、掲載料を別途に申し受ける。
7. 別冊：実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, key words (no more than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.
e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer · PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details, refer to a recent journal.

編集後記

新年明けましておめでとうございます。21世紀における会員諸氏のご健康とご活躍を祈り申し上げます



正月休みに TV を観ていたら、東京都知事石原慎太郎氏が「土、日に病気したら、命が危ない…… ウィークデイを選んで病気しなければ、という馬鹿げたことが現実になっているのだから……」とあって現在の日本の医療を、とくに東京都の医療を批判していた。

確かに、専門医による治療が必要な病気に休日になったとすると、平日に比べ専門医の治療を受けるまでに時間がかかることは事実で、したがって休日と平日での成績にも差が生じていることも予想できる。これが今日の日本医療の現実であろう。

病気はいつでも起こる、待ったなしである。医師のみでなく医療者たるもの、いついかなる時でも最善の治療を提供するのが当然であるが、現実はそうでない。

日曜日が安息日で仕事をしないことは、紀元前よりある Sabbath に由来しているが、他の職種ならいざ知らず、医療者には通用しない。安息日に病を癒すことは聖書にも善行として認められている（マタイによる福音書 12）。こんな事は持ち出すまでもないことであろう。医師に限らず医療者が「正午がきたら昼休み、土曜 日曜は仕事をしない」と権利ばかりを主張していたらどうなるだろう？

医療者にも当然休みが必要であり、休日が必要であるが、その前に保たねばならぬ矜持を忘れてはならない。医療者とは、医師、看護婦、薬剤師、検査技師、レントゲン技師等々、病院で働く全ての職員を意味する。

(吉田 修)